

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	米子市家庭教育支援チーム (呼称 : とことこ)
活動開始年度	平成 20 年度
活動拠点	米子市福祉保健部こども未来局こども相談課総合相談係
活動範囲	市内全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>3人</u> ボランティア団体代表1人 主任児童委員 1人 ボランティア1人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input checked="" type="checkbox"/> その他()
	<p>【拠点型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子でのふれあい体験「親子で遊ぼう♪」開催 親子でのふれあい遊びや、からだを使って遊べる場を提供している。子育て中の親子と地域の子育て支援者、サークルとのつながりや交流の場をつくる。身近にある児童文化センター(プレーパーク等)を利用し、落葉やダンボールを使った遊びや絵本読み聞かせ、焼き芋作りなどいろいろな遊びを提案している。親子のふれあいを大切に考え、支援チーム員等の実行委員は周りから観察し、適宜アドバイスをする。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28、29年度は、乳幼児期の外遊びの重要性を伝えるため、米子市内の地区公園にチーム員が出向き、公園の遊具、水飲み場等幼児の遊びを支える設備の有無を調査した。集めた写真や情報を地区ごとにまとめ、手軽に持ち歩けるサイズの公園マップを作成した。親子で、公園で遊んでもらえることを期待している。 ・子育て応援ブックを作成し、支援センター等に配布している。

活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の方からは、「普段できない遊びをしたり、手作りプールに入れたり、外でおもいっきり子どもと触れ合えたりできて良かった。」「月齢に応じて、絵本、ダンボールなどいろいろ選べて良かった。」と声をいただいた。参加されていた子育てサークルの方と、一般参加者との交流もできた。 ・公園マップを利用した方から、「写真付きで公園の様子やオムツ交換スペース、遊具、駐車場などの有無がわかりやすい。」と感想をいただいた。
活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを提供する際の安全確保に苦労している。支援チーム員 3 人では、外遊びの際には、目が届かないところもあり、主任児童委員、子育て支援センタースタッフが補助スタッフとして参加し、安全確保をしている。補助スタッフの確保が難しい。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した公園マップを地区ごとにファイルにまとめて、支援センター、子育てサークル等に配布し、乳幼児期の子どもを連れてくる保護者に情報提供をする。また、公民館など公共施設にも配布していくことを検討している。
問合せ先	<p>(部署・氏名等)</p> <p>米子市福祉保健部こども未来局こども相談課総合相談係</p> <p>(TEL)0859-23-5467 (E-mail)kodomosoudan@city.yonago.lg.jp</p>